

グラウト充填

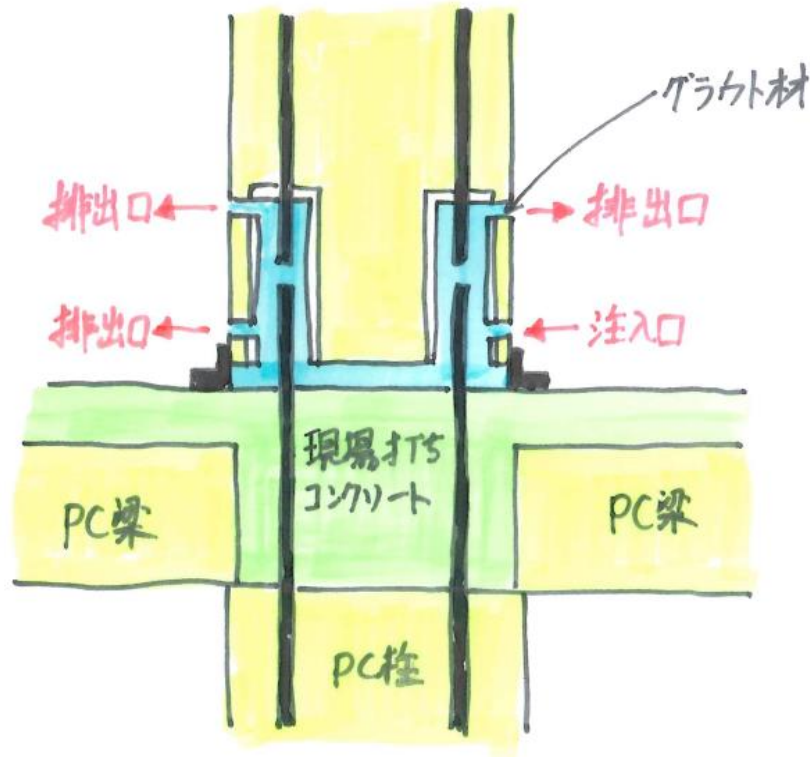


図 グラウト材の充填方法

出題問題

| 平成21年度 問題12 | |
|--|---|
| <p>プレキャスト鉄筋コンクリート工事に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。</p> | |
| 1 | <p>工事現場内において、主筋を揃えるように、部材の位置を調整する。</p> |
| 2 | <p>プレキャスト部材に用いるコンクリートの空気量は、特記がなく、凍結融解作用を受けるおそれがあったので、3%以下とする。</p> |
| 3 | <p>プレキャスト部材の柱脚部の排出口から溢れ出たグラウト材が、すべての排出口から溢れ出たことを目視により確認する。</p> |
| 4 | <p>プレキャスト部材の接合部の溶接作業を連続して行う。</p> |
| <p>「過去問」については、(公財)建築技術教育普及センターとの過去問の使用許諾条件により、「会員講座」のみでの公開としている。</p> <p>ここでは、参考として過去問が見れないようにしている(会員講座では全問題を公開)。</p> | |
| 解答 (正解肢1) | |
| 1 | <p>× バルコニー付き床部材の台木の位置は、ひび割れや変形等が生じないように、部材の組立て後に壁部材により支持される位置とする。</p> |
| 2 | <p>○ プレキャスト部材に用いるコンクリートの空気量は、特記がなく、凍結融解作用を受けるおそれがあったので、3%以下とする(凍結融解が起こる可能性がある場合は4.5%とする)。</p> |
| 3 | <p>○ プレキャスト部材の柱脚部において、スリーブ継手のグラウト材の充填度は、1か所の注入口から注入したグラウト材が、すべての排出口から溢れ出たことを目視により確認する(用語解説:12.プレキャスト工事②グラウト充填参照)。</p> |
| 4 | <p>○ プレキャスト部材の接合において、エンクロース溶接(鉄筋の突合せ溶接)による鉄筋の接合は、溶接後の鉄筋の残留応力を小さくするため、同一接合部の溶接作業を連続して行う。</p> |